

事業評価の結果（内容評価項目）

福祉サービス種別: 共同生活援助

事業所名: 第二明星学園グループホーム

第三者評価の判断基準

長野県福祉サービス第三者評価基準の考え方と評価のポイント、評価の着眼点【障がい者・児福祉サービス版】共通項目に係る判断基準による

○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。
 「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態
 「b」評価・・・aに至らない状況=多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態
 「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
A	1 利用者の尊重と権利擁護	(1) 自己決定の尊重	① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1 利用者の自己決定を尊重するエンパワメントの理念にもとづく個別支援を行っている。 ■ 2 利用者の主体的な活動については、利用者の意向を尊重しながら、その発展を促すように支援を行っている。 ■ 3 趣味活動、衣服、理美容や嗜好品等については、利用者の意思と希望や個性を尊重し、必要な支援を行っている。 ■ 4 生活に関わるルール等については、利用者と話し合う機会（利用者同士が話し合う機会）を設けて決定している。 ■ 5 利用者一人ひとりへの合理的配慮が、個別支援や取組をつうじて具体化されている。 ■ 6 利用者の権利について職員が検討し、理解・共有する機会が設けられている。 	<p>○平成27年明星グランドデザイン10年構想から7年目の令和4年10月に” ヴィラそよ風” (定員5名)グループホームが建設され、スタートを切っています。他2つのグループホームと合わせ、現在15名の利用者が、地域で「主体的に生きること」「市民」として自ら選んだ住まいで、安心して自分らしい暮らしを「実現」すること等、夢の実現に向けて生活しています。</p> <p>○地域移行に対する支援を行っていく為に、世話人と本体施設職員が、毎日グループホームに関わっています。また、世話人の資質向上を図るため、本体施設で行う内部研修の機会を設けています。そのような基盤の中で、「きめ細かな相談と意思決定支援」がなされ利用者一人ひとりの気持ちに寄り添った支援が展開されていました。</p>

	(2) 権利擁護	<p>① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。</p> <p style="text-align: right;">c)</p>	<p>□</p>	<p>7 利用者の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。</p> <p>■ 8 利用者の権利擁護のための具体的な取組を利用者や家族に周知している。</p> <p>■ 9 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。</p> <p>■ 10 原則禁止される身体拘束を緊急やむを得ない場合に一時的に実施する際の具体的な手続と実施方法を明確に定め、職員に徹底している。</p> <p>■ 11 所管行政への虐待の届出・報告についての手順等を明確にしている。</p> <p>■ 12 権利擁護のための取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。</p> <p>■ 13 権利侵害が発生した場合に再発防止策等を検討し、理解のもとで実践する仕組みが明確化されている。</p>	<p>○パーソンセンタード(利用者中心)という視点からの発想、そして更に一步進んで共同決定という、本人と支援員との相談、そして自己決定へと向かうには、自らの生き方もそれに相対するものでなければならぬと、志を高く掲げています。</p> <p>○各委員会の一つに、人権倫理委員会があり年間6回の研修機会が設けられて、初任者～5年未満、中堅以上、主任、補佐リーダー、パート、家族など各々に応じた研修が計画されていました。</p> <p>○権利擁護については、日常的にあたりまえに支援しているが、マニュアルが整備されていないという声も聞かれました。今後、整備され、全職員の理解が図られることを望みます。</p>
2 生活 支援	(1) 支援の基本	<p>① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。</p> <p style="text-align: right;">a)</p>	<p>■</p>	<p>14 利用者の心身の状況、生活習慣や望む生活等を理解し、一人ひとりの自律・自立に配慮した個別支援を行っている。</p> <p>■ 15 利用者が自力で行う生活上の行為は見守りの姿勢を基本とし、必要な時には迅速に支援している。</p> <p>■ 16 自律・自立生活のための動機づけを行っている。</p> <p>■ 17 生活の自己管理ができるように支援している。</p> <p>■ 18 行政手続、生活関連サービス等の利用を支援している。</p>	<p>○利用者の生活支援は、世話人さんだけでなく、本体職員が毎日グループホームに関わり、自律、自立にむけた支援の充実を図っています。</p> <p>○利用者の高齢化など、諸々の課題に関しては、グループホーム会議等で検討されていました。</p>

○利用者の尊重と権利擁護は、福祉施設・事業所の使命・役割の基本であり、虐待等の権利侵害を防止することは法令で必須とされる事項です。よって、取組の重要性に鑑み、取組が十分でない場合には、「c」評価とします。

<p>② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。</p>	<p>a)</p>	<p>■</p>	<p>19 利用者の心身の状況に応じて、さまざまな機会や方法によりコミュニケーションがはかられている。</p> <p>■</p> <p>20 コミュニケーションが十分ではない利用者への個別的な配慮が行われている。</p> <p>■</p> <p>21 意思表示や伝達が困難な利用者の意思や希望をできるだけ適切に理解するための取組を行っている。</p> <p>■</p> <p>22 利用者のコミュニケーション能力を高めるための支援を行っている。</p> <p>■</p> <p>23 必要に応じて、コミュニケーション機器の活用や代弁者の協力を得るなどの支援や工夫を行っている。</p>	<p>○日中の様子を知る本体職員がホームに入り、相談に乗ったり、入浴介助をしたりと、世話人さんと共に帰宅後の利用者の支援を行っていました。</p> <p>○休日には外出を計画したり、個々の利用者と話し合っただけの予定を、視覚的に認識できるようにカラー印刷したり、写真を入れたりと分かりやすく表にして貼り、コミュニケーション手段の一つとして利用していました。</p>
<p>③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。</p>	<p>a)</p>	<p>■</p>	<p>24 利用者が職員に話したいことを話せる機会を個別に設けている。</p> <p>■</p> <p>25 利用者の選択・決定と理解のための情報提供や説明を行っている。</p> <p>■</p> <p>26 利用者の意思決定の支援を適切に行っている。</p> <p>■</p> <p>27 相談内容について、サービス管理責任者等と関係職員による検討と理解・共有を行っている。</p> <p>■</p> <p>28 相談内容をもとに、個別支援計画への反映と支援全体の調整等を行っている。</p>	<p>○明星学園、第二明星学園便り「プリズム」の中に様々な支援の様子が、生き生きとした利用者の皆さんの写真と共に綴られています。職員は利用者の方の本当の気持ちを探り、それに寄り添う伴奏者の様に、見守りながら、相談しながら支援の様子が伝わっています。</p>

<p>④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。</p>	<p>a)</p>	<p>■</p>	<p>29 個別支援計画にもとづき利用者の希望やニーズにより選択できる日中活動（支援・メニュー等）の多様化をはかっている。</p> <p>■ 30 利用者の状況に応じて活動やプログラム等へ参加するための支援を行っている。</p> <p>■ 31 利用者の意向にもとづく余暇やレクリエーションが適切に提供されている。</p> <p>■ 32 文化的な生活、レクリエーション、余暇及びスポーツに関する情報提供を行っている。</p> <p>■ 33 地域のさまざまな日中活動の情報提供と必要に応じた利用支援を行っている。</p> <p>■ 34 個別支援計画の見直し等とあわせて日中活動と支援内容等の検討・見直しを行っている。</p>	<p>○利用者が、自立した日常生活を営むことが出来るよう、利用者の個別支援計画を作成し、6ヶ月に1回以上、利用者との面接により実施状況を把握して、必要に応じ個別支援計画の変更を行っています。</p> <p>○毎月一回、通所わくわくの職員と相談をし、個々のニーズによって外出する事を楽しみにされていました。土・日曜日に、五百円以内で近所のお店に買い物に行く方もおられました。</p> <p>○コロナ禍だった為、以前のような地域参加が困難ではありますが、コロナ対策を行いながら、共に生きる形を今後とも模索して頂ければと思います。</p>
<p>⑤ 利用者の障がいの状況に応じた適切な支援を行っている。</p>	<p>a)</p>	<p>■</p>	<p>35 職員は障がいに関する専門知識の習得と支援の向上をはかっている。</p> <p>■ 36 利用者の障がいによる行動や生活の状況などを把握し、職員間で支援方法等の検討と理解・共有を行っている。</p> <p>■ 37 利用者の不適合行動などの行動障がいに個別的かつ適切な対応を行っている。</p> <p>■ 38 行動障がいなど個別的な配慮が必要な利用者の支援記録等にもとづき、支援方法の検討・見直しや環境整備等を行っている。</p> <p>■ 39 利用者の障がいの状況に応じて利用者間の関係の調整等を必要に応じて行っている。</p>	<p>○明星学園主催の「療育研究会」「臨床動作法飯田月例会」等、数々の研修の機会が設けられ、支援員には多くの学びの場があります。</p> <p>○人権倫理、ハラスメント、身体拘束解除、衛生、人材育成、虐待防止、リスクマネジメント等、各委員会があり、必要に応じて随時開催されて話し合いが行われています。</p>

<p>(2) 日常的な生活支援</p>	<p>① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。</p>	<p>b)</p>	<p>□</p>	<p>40 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本としておいしく、楽しく食べられるように工夫されている。</p> <p>■ 41 利用者の心身の状況に応じて食事の提供と支援等を行っている。</p> <p>■ 42 利用者の心身の状況に応じて入浴支援や清拭等を行っている。</p> <p>■ 43 利用者の心身の状況に応じて排せつ支援を行っている。</p> <p>■ 44 利用者の心身の状況に応じて移動・移乗支援を行っている。</p>	<p>○朝食の目玉焼きも、それぞれ咀嚼や嗜好に配慮し、食べやすいよう焼き具合を加減したり、刻むなど工夫していました。利用者の食生活の視野が広がるよう、もう少し朝食のメニュー内容に変化を付けるよう望みます。</p> <p>○夕食は栄養士のアドバイスを受けて、健康に配慮した上で、希望を取り入れ、世話人が材料を調達して、ホームの台所で調理、提供しています。</p> <p>○入浴は、本体職員が支援しています。一人で入浴できる方もいらっしゃいますが、時々「何かお手伝いすることはありますか？」と声を掛けてもらい、安心して生活できるという声も聞かれました。</p>
<p>(3) 生活環境</p>	<p>① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。</p>	<p>a)</p>	<p>■</p>	<p>45 利用者の居室や日中活動の場等は、安心・安全に配慮されている。</p> <p>■ 46 居室、食堂、浴室、トイレ等は、清潔、適温と明るい雰囲気を保っている。</p> <p>■ 47 利用者が思い思いに過ごせるよう、また安眠（休息）できるよう生活環境の工夫を行っている。</p> <p>■ 48 他の利用者に影響を及ぼすような場合、一時的に他の部屋を使用するなどの対応と支援を行っている。</p> <p>■ 49 生活環境について、利用者の意向等を把握する取組と改善の工夫を行っている。</p>	<p>○ヴィラそよ風(グループホーム)は、新しく気持ちの良い生活空間になっていました。居室も一人部屋になっており、テレビ、エアコン、ベッドなどの設備も充実していて、利用者の満度が感じられました。</p> <p>○リビング、キッチン、食卓、浴室、トイレも明るく衛生的に維持されていました。</p>
<p>(4) 機能訓練・生活訓練</p>	<p>① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。</p>	<p>a)</p>	<p>■</p>	<p>50 生活動作や行動のなかで、意図的な機能訓練・生活訓練や支援を行っている。</p> <p>■ 51 利用者が主体的に機能訓練・生活訓練を行えるよう工夫している。</p> <p>■ 52 利用者の障がいの状況に応じて専門職の助言・指導のもとに機能訓練・生活訓練を行っている。</p> <p>■ 53 利用者一人ひとりの計画を定め、関係職種が連携して機能訓練・生活訓練を行っている。</p> <p>■ 54 定期的にモニタリングを行い、機能訓練・生活訓練計画や支援の検討・見直しを行っている。</p>	<p>○グループホームを利用している方の多くは、日中は本園に通っています。そこでの日中活動には外部講師によるアート活動や、アニマルセラピー、のびのびムーブ(皆で楽しく体を動かす)など、リラックスして楽しく体を動かし、健康状態の安定を保つと共に運動能力の向上を図っています。</p>

(5) 健康管理・医療的な支援	① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 55 入浴、排せつなどの支援のさまざまな場面をつうじて、利用者の健康状態の把握に努めている。 ■ 56 医師又は看護師等による健康相談や健康面での説明の機会を定期的に設けている。 ■ 57 利用者の障がいの状況にあわせた健康の維持・増進のための工夫を行っている。 ■ 58 利用者の体調変化等における迅速な対応のための手順、医師・医療機関との連携・対応を適切に行っている。 ■ 59 障がい者・児の健康管理等について、職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。 	<p>○グループホームにて、不調や特変があった場合は、世話人から直ちに本園へと連絡され、園長、看護師に報告し対応するようになっています。</p> <p>○保健事業として、年に一度利用者の健康診断と歯科検診を実施しています。また、毎月委託医師の往診、予防接種等、健康管理が行われていました。</p>
	② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 60 医療的な支援の実施についての考え方（方針）と管理者の責任が明確であり、実施手順や個別の計画が策定されている。 ■ 61 服薬等の管理（内服薬・外用薬等の扱い）を適切かつ確実に行っている。 ■ 62 慢性疾患やアレルギー疾患等のある利用者については、医師の指示にもとづく適切な支援や対応を行っている。 ■ 63 医療的ケアは、医師の指示にもとづく適切かつ安全な方法で行っている。 ■ 64 医師や看護師の指導・助言のもと、安全管理体制が構築されている。 ■ 65 医療的な支援に関する職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。 	<p>○薬は、本体職員と世話人が、誤飲や飲み忘れがない様に、一人ひとり所定の場所にセットし、きちんと管理されていました。</p> <p>○衛生委員会が設けられ、嘔吐処理の手順表の作成研修や、救命救急講習が行われています。また、薬の保管のありかたが話し合われていました。</p> <p>○保健・衛生についてのマニュアルが作成されています。毎日の視診では、顔つき、色つや、機嫌と元気の良し悪しに注意する等、対応についても示されていました。</p>

<p>(6) 社会参加、学習支援</p>	<p>① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。</p>	<p>b)</p>	<p>■</p>	<p>66 利用者の希望と意向を把握し、社会参加に資する情報や学習・体験の機会を提供する等、社会参加への支援を行っている。</p> <p>■ 67 利用者の外出・外泊や友人との交流等について、利用者を尊重して柔軟な対応や支援を行っている。</p> <p>□ 68 利用者や家族等の希望と意向を尊重して学習支援を行っている。</p> <p>■ 69 利用者の社会参加や学習の意欲を高めるための支援と工夫を行っている。</p>	<p>○コロナ禍において、みんなで一緒に旅行に出かける等、当面の間難しい状況でしたが、ここ最近ではミニ外出を行って、少しずつ以前のよう日常に近づきつつある様でした。</p> <p>○個々の利用者の日常的な買い物や、少人数(担当と二人)での外出等を計画したり、また、年間行事計画では、ボーリングやドライブ等の機会が設けられ、とても楽しみにされていました。</p>
<p>(7) 地域生活への移行と地域生活の支援</p>	<p>① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。</p>	<p>a)</p>	<p>■</p>	<p>70 利用者の希望と意向を把握し、地域生活に必要な社会資源に関する情報や学習・体験の機会を提供している。</p> <p>■ 71 利用者の社会生活力と地域生活への移行や地域生活の意欲を高める支援や工夫を行っている。</p> <p>■ 72 地域生活への移行や地域生活について、利用者の意思や希望が尊重されている。</p> <p>■ 73 地域生活への移行や地域生活に関する課題等を把握し、具体的な生活環境への配慮や支援を行っている。</p> <p>■ 74 地域生活への移行や地域生活のための支援について、地域の関係機関等と連携・協力している。</p>	<p>○新たに建てられたグループホーム「ヴィラそよ風」は、「北方のぞみハイツ」「北方日の出ホーム」と共に地域社会で主体的に生きる”ことを目指し、合計15名の利用者が、一人ひとりのニーズに即したサービスを受けられるよう、地域社会で生活をしています。</p> <p>○コロナ禍で、地域行事に参加することは難しい状況ではありますが、可能な範囲での参加が図れるようにしたいとのことでした。</p>

	<p>(8) 家族等との連携・交流と家族支援</p>	<p>① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。</p>	<p>a)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 75 家族等との連携・交流にあたっては、利用者の意向を尊重して対応を行っている。 ■ 76 利用者の生活状況等について、定期的に家族等への報告を行っている。 ■ 77 利用者の生活や支援について、家族等と意見交換する機会を設けている。 ■ 78 利用者の生活や支援に関する家族等からの相談に応じ、必要に応じて助言等の家族支援を行っている。 ■ 79 利用者の体調不良や急変時の家族等への報告・連絡ルールが明確にされ適切に行われている。 ■ 80 利用者の生活と支援に関する家族等との連携や家族支援についての工夫を行っている。 	<p>○コロナ禍により、家族懇談会などで集まることは難しい状況であったため、懇談資料を郵送し、基本的には電話にて行われました。対面での懇談を希望される保護者には、日程調整をして行われていました。</p> <p>○「明星」学園通信に、家族会のお知らせ欄が設けられ、繋がりが持たれていました。</p>
--	----------------------------	-------------------------------------	-----------	---	--

<p>3 発達支援</p>	<p>(1) 発達支援</p>	<p>① 子どもの障がいの状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。</p>	<p>a)</p>	<p><input type="checkbox"/></p>	<p>81 子どもの発達過程や適応行動の状況等を踏まえた発達支援（個別支援）を行っている。</p>	<p style="text-align: center;">対 象 外</p>
			<p>b)</p>	<p><input type="checkbox"/></p>	<p>82 子どもの発達に応じて必要となる基本的日常動作や自立生活を支援するための活動や取組について、個別活動と集団活動を組み合わせながら実施している。</p>	
			<p>c)</p>	<p><input type="checkbox"/></p>	<p>83 子どもの活動プログラムについてはチームで作成するとともに、子どもの状況に応じた工夫や見直しを行っている。</p>	
				<p><input type="checkbox"/></p>	<p>84 子どもと保護者に対し、学校及び保育所や認定こども園、児童発達支援事業所等との情報共有、連携・調整をはかっている。</p>	
<p>4 就労支援</p>	<p>(1) 就労支援</p>	<p>① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。</p>	<p>a)</p>	<p><input type="checkbox"/></p>	<p>85 利用者一人ひとりの働く力や可能性を引き出すような取組や工夫を行っている。</p>	<p style="text-align: center;">対 象 外</p>
			<p>b)</p>	<p><input type="checkbox"/></p>	<p>86 利用者一人ひとりの障がいに応じた就労支援を行っている。</p>	
			<p>c)</p>	<p><input type="checkbox"/></p>	<p>87 利用者の意向や障がいの状況にあわせて、働くために必要なマナー、知識・技術の習得や能力の向上を支援している。</p>	
				<p><input type="checkbox"/></p>	<p>88 働く意欲の維持・向上のための支援を行っている。</p>	
				<p><input type="checkbox"/></p>	<p>89 仕事や支援の内容について、利用者への定期的な報告と話し合いを行っている。</p>	
				<p><input type="checkbox"/></p>	<p>90 地域の企業、関係機関、家族等との連携・協力のもとに就労支援を行っている。</p>	

	<p>② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。</p>	<p>a) <input type="checkbox"/></p> <p>b) <input type="checkbox"/></p> <p>c) <input type="checkbox"/></p>	<p>91 利用者の意向や障がいの状況に応じた仕事時間、内容・工程等となっている。</p> <p>92 利用者が選択できるよう、多様な仕事の内容・工程等を提供するための工夫を行っている。</p> <p>93 仕事の内容・工程等の計画は、利用者で作成するよう努めている。</p> <p>94 賃金（工賃）等を利用者にわかりやすく説明し、同意を得たうえで適切に支払われている。</p> <p>95 賃金（工賃）を引き上げるための取組や工夫を行っている。</p> <p>96 労働安全衛生に関する配慮を適切に行っている。</p>	<p style="text-align: center;">対 象 外</p>
	<p>③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。</p>	<p>a) <input type="checkbox"/></p> <p>b) <input type="checkbox"/></p> <p>c) <input type="checkbox"/></p>	<p>97 職場や受注先の開拓等により仕事の機会の拡大（職場開拓）に努めている。</p> <p>98 障害者就業・生活支援センターやハローワーク等との連携を定期的かつ適切に行っている。</p> <p>99 利用者の障がいの状況や働く力にあわせて、利用者与企业とのマッチングなどの就職支援を適切に行っている。</p> <p>100 就労後の利用者と職場との関係づくりなど、職場定着等の支援を必要に応じて行っている。</p> <p>101 利用者や地域の障がい者が離職した場合などの受入や支援を行っている。</p> <p>102 地域の企業等との関係性の構築や障がい者が働く場における「合理的配慮」を促進する取組・働きかけを行っている。</p>	<p style="text-align: center;">対 象 外</p>